

平成21年11月6日

肉用牛肥育経営安定対策事業実施要綱第5の6の(7)  
のイの(イ)の「理事長が別に定める算定数値」について

平成21年度第2四半期(平成21年7月から9月)において出荷された肥育牛に係る肉用牛肥育経営安定対策事業実施要綱第5の6の(7)のイの(イ)の「理事長が別に定める算定数値」について、別紙のとおり算定したので通知します。

連絡先

畜産振興部畜産振興第三課

担当：坂上、横田

電話：03-3583-4874

別紙

肉用牛肥育経営安定対策事業に係る四半期平均推定所得等の算定結果について  
[平成21年7月から9月に係る四半期]

平成21年7月から9月に係る四半期における肉用牛肥育経営安定対策事業実施要綱第5の6の(7)のイの(イ)の「理事長が別に定める算定数値」は、品種区分ごとに下表のとおりとなった。

(表)算定結果

	単位(円/頭)		
	肉専用種	交雑種	乳用種
四半期平均推定粗収益 (A)	844,563	473,127	326,987
四半期平均推定生産費 (B)	934,004	569,603	373,487
四半期平均推定所得 (A)-(B)	▲ 89,441	▲ 96,476	▲ 46,500

(参考)

基準家族労働費(全国平均)を採用した場合の補てん金単価

	単位(円/頭)		
	肉専用種	交雑種	乳用種
四半期平均推定所得 (C)	▲ 89,441	▲ 96,476	▲ 46,500
基準家族労働費(全国平均) (D)	74,422	41,310	28,455
差額(基準家族労働費が上限) (E)	▲ 74,422	▲ 41,310	▲ 28,455
補てん金単価 (E)×0.8 100円未満切り捨て	59,500	33,000	22,700

四半期平均推定生産費の算定方法

$$(B) = (F) - \{(G) + (H) + (I)\}$$

	単位(円/頭)		
	肉専用種	交雑種	乳用種
四半期平均推定生産費 (B)	934,004	569,603	373,487
四半期平均推定生産費総額 (F)	1,016,626	619,677	406,630
うち家族労働費 (G)	69,413	37,039	24,652
うち自己資本利子 (H)	10,834	11,175	7,366
うち自作地地代 (I)	2,375	1,860	1,125

(参考資料－1)

## 肉用牛肥育経営安定対策事業等における 1頭当たり補てん金単価の推移

(単位：円/頭)

	肉専用種	交雑種	乳用種
18年度第4四半期 (19年1～3月)	—	—	—
19年度第1四半期 (19年4～6月)	—	—	4,400
19年度第2四半期 (19年7～9月)	—	6,900	22,700
19年度第3四半期 (19年10～12月)	—	29,500	22,700
19年度第4四半期 (20年1～3月)	—	28,700	22,700
20年度第1四半期 (20年4～6月)	マルキン	—	33,000
	補完マルキン	—	6,200
	計	—	39,200
20年度第2四半期 (20年7～9月)	マルキン	36,700	33,000
	補完マルキン	—	34,400
	計	36,700	67,400
20年度第3四半期 (20年10～12月)	マルキン	59,500	33,000
	補完マルキン	18,200	58,400
	計	77,700	91,400
20年度第4四半期 (21年1～3月)	マルキン	59,500	33,000
	補完マルキン	32,400	55,200
	計	91,900	88,200
21年度第1四半期 (21年4～6月)	マルキン	59,500	33,000
	補完マルキン	43,500	40,700
	計	103,000	73,700
21年度第2四半期 (21年7～9月)	マルキン	59,500	33,000
	補完マルキン	53,600	57,800
	計	113,100	90,800

(前期との差額)    (+10,100)    (+17,100)    (+13,200)

注1：マルキンとは、肉用牛肥育経営安定対策事業。

注2：補完マルキンとは、肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業。

(参考資料-2)

## 肉用牛肥育経営安定対策事業等における 1頭当たり四半期平均推定所得の推移

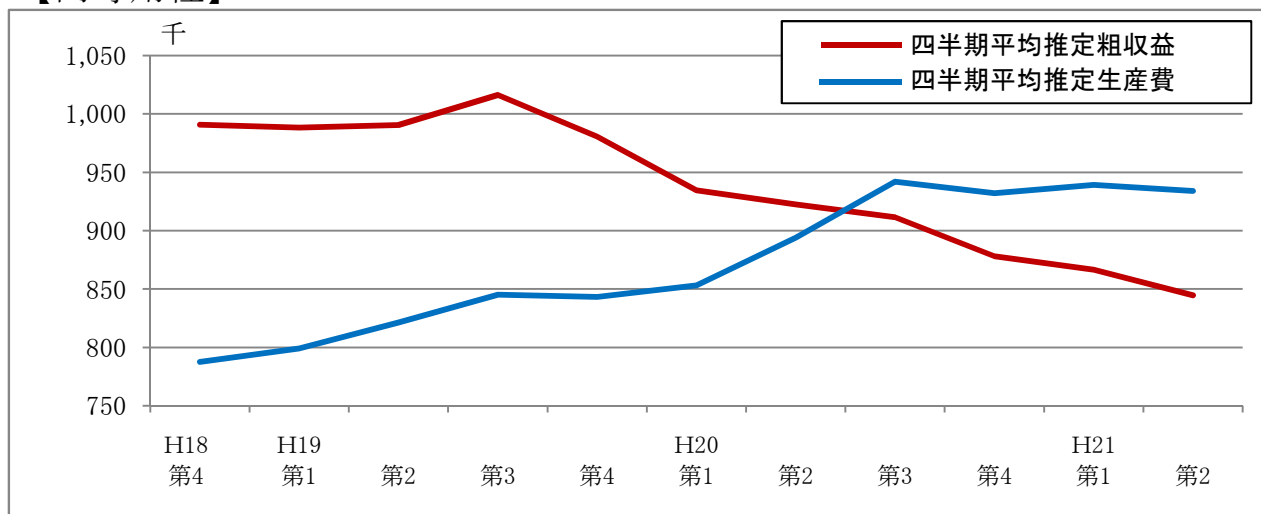
(単位：円/頭)

	肉専用種	交雑種	乳用種
18年度第4四半期 (19年1～3月)	203,144	79,796	39,059
19年度第1四半期 (19年4～6月)	189,248	65,058	22,916
19年度第2四半期 (19年7～9月)	169,215	32,568	▲ 7,374
19年度第3四半期 (19年10～12月)	171,167	4,313	▲ 1,251
19年度第4四半期 (20年1～3月)	137,273	5,374	▲ 6,047
20年度第1四半期 (20年4～6月)	81,362	▲ 10,465	▲ 3,894
20年度第2四半期 (20年7～9月)	28,535	▲ 57,392	▲ 31,668
20年度第3四半期 (20年10～12月)	▲ 30,340	▲ 97,460	▲ 20,188
20年度第4四半期 (21年1～3月)	▲ 54,066	▲ 92,076	▲ 19,813
21年度第1四半期 (21年4～6月)	▲ 72,643	▲ 67,858	▲ 24,597
21年度第2四半期 (21年7～9月)	▲ 89,441	▲ 96,476	▲ 46,500

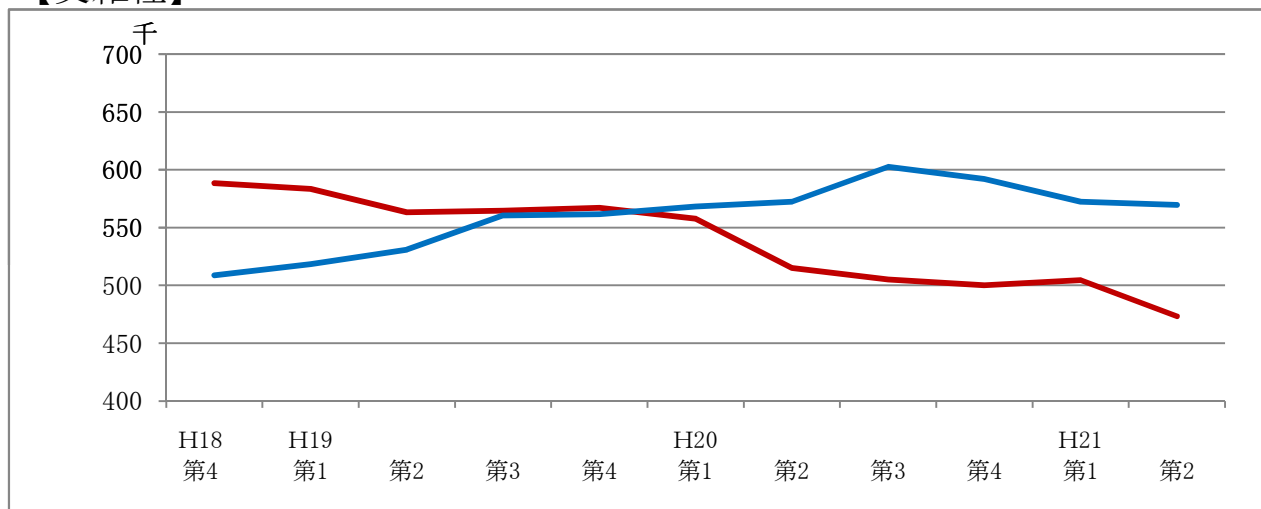
(参考資料-3)

## 四半期平均推定粗収益及び生産費の推移

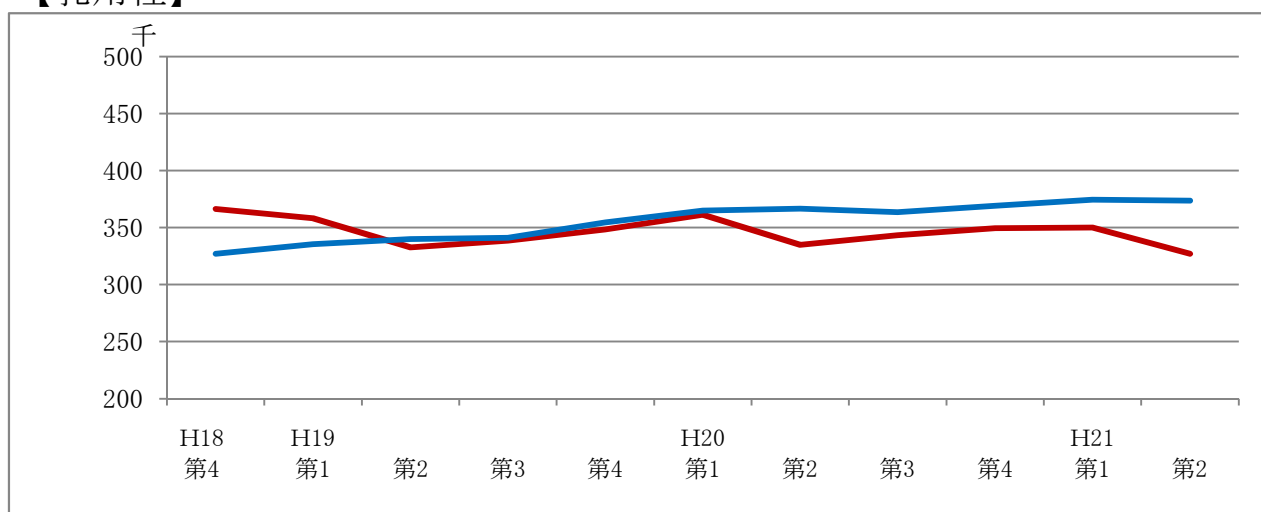
### 【肉専用種】



### 【交雑種】



### 【乳用種】



注1：粗収益は、主産物価格と副産物価格を足したもの。主産物価格は、農林水産省統計部が公表している全国29市場の平均枝肉価格に、平均枝肉重量を乗じたもの。

注2：生産費は、過去の生産費調査を基に、一部の費目に物価修正を加えたものから、家族労働費、自己資本利子及び自作地地代を除いたもの（ほぼ物財費に相当するもの）。